



福祉の仕事について考えてみよう！

高齢者や障がい者をケアする仕事について「大変そう」と思っている方は多いでしょう。もちろん、大変なこともあります。それ以上に、高齢者や障がい者の笑顔を引き出すためにいろいろな工夫をこらしている、とてもクリエイティブでやりがいのある仕事です。インタビューを読んだり、ネットを活用したり、間違い探しを解いたりして、福祉の仕事のやりがいについて考えてみましょう。



あいそら羽島(羽島市) 坂 明香音さん

介護職員クローズアップ



楽しくすごせるように工夫

1年半前から障がい者総合福祉施設「あいそら羽島」で働いている介護員の坂明香音さん(21)に働き始めたきっかけややりがいについて聞いてみました。

— 仕事内容について詳しく教えてください。

ここでは、病気や障がいなどの理由でからだ思うように動けなかったり、知的障がいがあったりする30代から70代までの50人ほどが暮らしています。私は、その人たちの食事や入浴など、生活全般のサポートをしています。楽しく過ごしてもらうために、一緒にゲームをすることもありますよ。あいそら羽島にはほかに、自宅に住んでいる方が日中に通ってリハビリなどをするとところもあります。となりには仕事につくための訓練をする「グッドジョブ羽島」もあり、障がいのある方が自分らしく楽しく安心して過ごせる、働けるように職員みなでお手伝いしています。

— 福祉の仕事をしたきっかけは。

母が介護の仕事をしていますし、おじいちゃんやおばあちゃんとも一緒に住んでいたの、介護の仕事は子どもの頃から身近に感じていました。そのため、高校と短大は福祉について学べる場所を選び、短大を卒業す

るタイミングで国家資格の介護福祉士を取得しました。

短大の授業では、あいそら羽島にも行きました。それまでは高齢者と接する仕事の方が楽しいというイメージを何となく持っていましたが、職員のみなさんは楽しそうに働いていましたし、わからないことをていねいに教えてくれたため、ここで働くことに決めました。

— やりがいは。

中には体がほとんど動かせない利用者もいます。リラックスした様子なのか、みけんにしわをよせていないかなど、利用者の表情をしっかりと見て、無理に嫌なことをしないように心掛けています。笑顔を見せてくれるととてもうれしいですね。

— 小学生のみなさんにメッセージを。

多くの方にとって、障がい者と関わる仕事はイメージしにくいところがあるでしょう。私たちは、大変だなと思うこともありますが、楽しさや喜びを感じながら日々頑張っています。実習や見学を広く受け入れている施設もたくさんありますので、一度、見に行ってみるといろいろなことを学ぶ機会になると思いますよ。

福祉の魅力をTwitterで続々発信！

今年7月からスタートしたTwitter「ぎふ福祉の魅力情報BOX☆岐阜県福祉人材総合支援センター」では、福祉施設での利用者の笑顔やイキイキと働く職員の姿のほか、福祉の仕事につこうとがんばっている高校生や大学生の様子などを発信しています。保護者にフォローしてもらい、ぜひ見てみてくださいね。



#ぎふ福祉の魅力BOX #高校生 #介護福祉士

ぎふ福祉の魅力
情報BOX☆
Twitter

